

## 当行の平成17年3月期決算の業況について

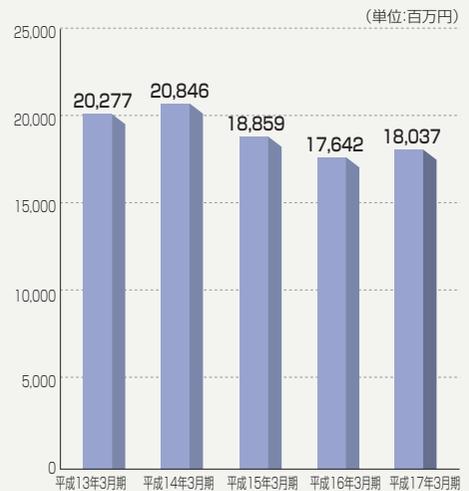
当行では中期経営計画「ステップ・アップ・プランⅡ」に基づき、業容の拡大と財務基盤の強化に努めてまいりました。

### 損益の状況について

平成17年3月期決算の経常収益は、180億37百万円(前期比2.2%増)、経常利益は18億85百万円(前期比214.5%増)、当期純利益は12億86百万円(前期比121.9%増)と増収増益となりました。また、銀行本来の収益力を表すコア業務純益は34億81百万円(前期比25.1%増)となりました。

経常収益の増加要因は、期中における貸出金の平均残高が増加したことにより、貸出金利息収入が増加したことなどによるものです。また、経常利益、当期純利益の増加要因は、経常収益が増加したことに加え、お取引先の業績回復や当行の経営改善支援効果等により貸倒償却引当費用が前期に比べ減少したことなどによるものです。

### 経常収益

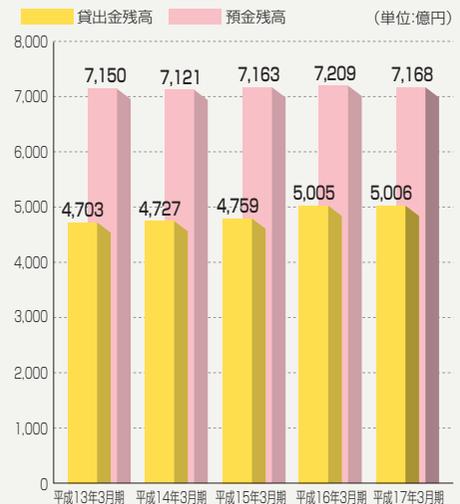


### 預金・貸出金残高、有価証券残高、自己資本比率(単体)について

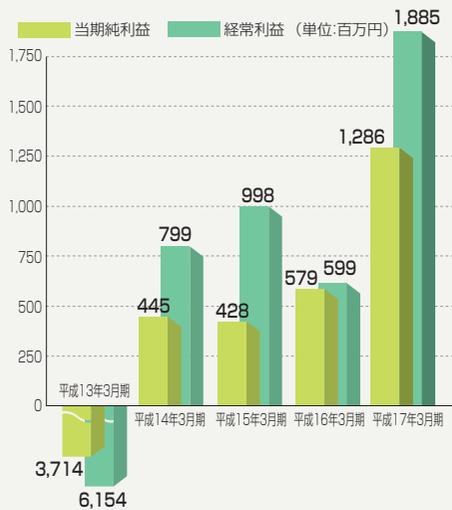
預金残高は、7,168億24百万円(前期比0.5%減)となりました。法人預金等が減少したものの、主力の個人預金は平成17年3月末残高で5,240億83百万円(前期比3.1%増)と堅調に推移しました。貸出金残高は、中小企業向け貸出が減少したものの、住宅ローンや地方公共団体向け貸出が堅調に推移したこと等から5,006億95百万円(前期比0.0%増)となりました。

有価証券残高は、市場動向を勘案しリスクの分散を図りながら、資金の効率的かつ安定した運用に傾注し、1,816億26百万円(前期比3.4%増)となりました。自己資本比率(国内基準・単体)は、前期比0.33ポイント上昇し8.33%となりました。

### 預金・貸出金残高



## 経常利益・当期純利益

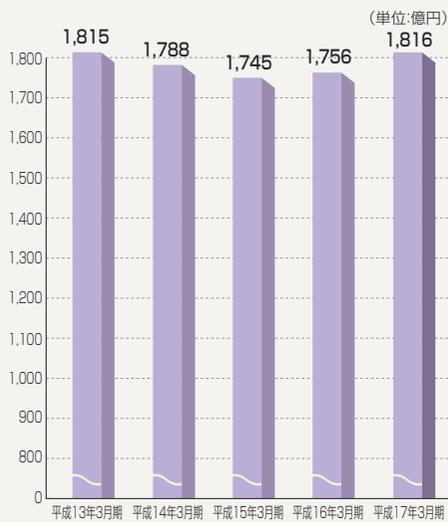


## 業務純益・コア業務純益

※コア業務純益とは、業務純益から一般貸倒引当金繰入額及び債券売買等の損益を控除した金額をいいます。



## 有価証券残高



## 自己資本比率(単体)

